



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	101,644	1.0	3,211	28.1	3,254	19.5	2,283	23.0
2019年3月期第2四半期	102,721	9.0	2,505	13.7	2,722	12.3	1,856	13.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,866百万円 (27.9%) 2019年3月期第2四半期 1,459百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	86.72	
2019年3月期第2四半期	70.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	84,756	60,440	71.2
2019年3月期	80,915	58,968	72.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 60,347百万円 2019年3月期 58,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		15.00	30.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	2.6	5,700	15.2	5,800	13.9	4,000	18.0	151.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	28,908,581 株	2019年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,575,877 株	2019年3月期	2,575,791 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	26,332,717 株	2019年3月期2Q	26,332,956 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さが見られるものの雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、先行きにつきましては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、消費税増税による国内経済への影響など、不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用により、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高101,644百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益3,211百万円（前年同四半期比28.1%増）、経常利益3,254百万円（前年同四半期比19.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,283百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、電子部品・デバイス分野の生産が前期比で減少するなど厳しい環境となりました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物処理受託の取扱量は概ね横這いで推移しましたが、貴金属地金の買取り数量縮小により貴金属製品の販売量は減少し、販売価格は上昇したものの全体としての売上高は前年同四半期に比べ減少しました。一方で、貴金属相場の高騰に伴う販売価格の上昇や原価低減などにより営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は60,617百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益は2,364百万円（前年同四半期比45.5%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、加工食品需要の高まりなどを背景に生産活動は総じて堅調に推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、水産品、畜産品及び農産品の販売量が増加し販売価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しましたが、運送費及び保管料の増加もあり、営業利益は前年同四半期に比べ僅かに減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は41,063百万円（前年同四半期比12.5%増）、営業利益は847百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,841百万円増加し、84,756百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金並びにたな卸資産の増加によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,369百万円増加し、24,316百万円となりました。これは主として運転資金に備えた短期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,471百万円増加し、60,440百万円となりました。これは主として期末配当金の支払い394百万円を上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ680百万円増加し8,496百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は277百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益による資金の増加と、売上債権の増加並びにたな卸資産の増加による資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の5,713百万円の資金の増加に比べ5,435百万円減少しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は1,131百万円となりました。これは主として工場設備の新設及び更新等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の556百万円の支出に比べ575百万円の支出増加となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は1,565百万円となりました。これは主として期末配当金の支払いを上回る借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の4,226百万円の資金の減少に比べ5,791百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、期初の連結業績予想に対し当第2四半期連結累計期間の業績が増収増益となる見込みとなったため、下期見通しを反映し、2020年3月期通期連結業績予想の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回予想を変更しております。

詳細につきましては、2019年11月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	200,000	5,000	5,100	3,450	131.01
今回修正予想(B)	203,000	5,700	5,800	4,000	151.90
増減額(B-A)	3,000	700	700	550	—
増減率(%)	1.5	14.0	13.7	15.9	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	208,338	4,948	5,094	3,391	128.77

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,816	8,496
受取手形及び売掛金	20,522	22,348
商品及び製品	16,702	18,481
仕掛品	542	527
原材料及び貯蔵品	6,942	6,384
その他	4,440	4,186
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	56,961	60,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,177	9,355
減価償却累計額	△5,131	△5,279
建物及び構築物(純額)	4,045	4,075
機械装置及び運搬具	8,800	9,005
減価償却累計額	△7,158	△7,408
機械装置及び運搬具(純額)	1,642	1,596
土地	9,036	9,034
リース資産	1,181	1,484
減価償却累計額	△449	△625
リース資産(純額)	731	858
建設仮勘定	1,303	1,749
その他	1,302	1,370
減価償却累計額	△965	△1,028
その他(純額)	337	342
有形固定資産合計	17,098	17,657
無形固定資産		
その他	642	641
無形固定資産合計	642	641
投資その他の資産		
投資有価証券	4,512	4,342
繰延税金資産	115	171
その他	1,601	1,545
貸倒引当金	△16	△19
投資その他の資産合計	6,212	6,041
固定資産合計	23,953	24,340
資産合計	80,915	84,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,170	8,262
短期借入金	3,081	5,584
1年内返済予定の長期借入金	755	661
リース債務	271	330
未払法人税等	914	1,001
賞与引当金	818	979
その他	3,803	3,781
流動負債合計	17,814	20,601
固定負債		
長期借入金	2,480	2,190
リース債務	524	583
役員退職慰労引当金	625	649
執行役員退職慰労引当金	28	9
退職給付に係る負債	185	189
繰延税金負債	220	66
その他	68	27
固定負債合計	4,132	3,715
負債合計	21,946	24,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	52,865	54,754
自己株式	△3,010	△3,010
株主資本合計	57,422	59,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	585	493
繰延ヘッジ損益	41	△255
為替換算調整勘定	855	806
退職給付に係る調整累計額	△15	△7
その他の包括利益累計額合計	1,466	1,036
非支配株主持分	79	92
純資産合計	58,968	60,440
負債純資産合計	80,915	84,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	102,721	101,644
売上原価	92,920	90,694
売上総利益	9,801	10,950
販売費及び一般管理費	7,295	7,739
営業利益	2,505	3,211
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	16	17
投資有価証券売却益	12	27
持分法による投資利益	160	-
仕入割引	6	5
受取補償金	-	32
為替差益	30	-
その他	32	42
営業外収益合計	263	134
営業外費用		
支払利息	28	33
持分法による投資損失	-	7
為替差損	-	7
その他	19	43
営業外費用合計	47	91
経常利益	2,722	3,254
税金等調整前四半期純利益	2,722	3,254
法人税、住民税及び事業税	839	989
法人税等調整額	17	△30
法人税等合計	856	959
四半期純利益	1,865	2,294
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,856	2,283

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,865	2,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△91
繰延ヘッジ損益	△93	△297
為替換算調整勘定	△264	△23
退職給付に係る調整額	6	7
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△23
その他の包括利益合計	△405	△428
四半期包括利益	1,459	1,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,459	1,853
非支配株主に係る四半期包括利益	0	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,722	3,254
減価償却費	647	723
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127	160
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△30	△15
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	△18
受取利息及び受取配当金	△21	△26
支払利息	28	33
持分法による投資損益 (△は益)	△160	7
売上債権の増減額 (△は増加)	988	△1,802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,140	△1,200
仕入債務の増減額 (△は減少)	△618	72
その他	930	△200
小計	6,728	1,008
利息及び配当金の受取額	103	36
利息の支払額	△27	△33
法人税等の支払額	△1,091	△733
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,713	277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△542	△1,112
有形固定資産の売却による収入	-	2
無形固定資産の取得による支出	△31	△82
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	18	30
その他	4	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	△1,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,244	2,509
長期借入れによる収入	3,000	-
長期借入金の返済による支出	△497	△383
配当金の支払額	△368	△394
その他	△115	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,226	1,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	846	680
現金及び現金同等物の期首残高	7,571	7,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,418	8,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が145百万円増加し、流動負債の「リース債務」が38百万円及び固定負債の「リース債務」が113百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,266	36,454	102,721	—	102,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	43	43	△43	—
計	66,266	36,498	102,765	△43	102,721
セグメント利益	1,625	880	2,505	—	2,505

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,617	41,026	101,644	—	101,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	36	36	△36	—
計	60,617	41,063	101,680	△36	101,644
セグメント利益	2,364	847	3,211	—	3,211

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。